

一般質問通告表

令和5年第4回沖縄県議会(定例会)

12月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	山里 将雄(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			

1 辺野古新基地建設問題について

- (1) 辺野古軟弱地盤の存在が2007年の調査で報告されていたことについて
沖縄防衛局は仲井眞県政に対し、辺野古新基地の埋立申請する前の2007年の調査報告で海底に軟弱地盤が広く分布しており、追加のボーリング調査が必要としていたが、それを隠して追加調査をせずに埋立承認願書を提出していたことが分かった。
 - ア このことが報道されて以降、県はどう対応してきたか伺う。
 - イ 松野官房長官は2013年の埋立承認願書に軟弱地盤の存在は記載していると言っているが、確認されているか。
 - ウ 申請前に追加調査をしなかったのは、国土交通省の省令に違反するとの指摘がある。衆議院国交委員会で、国交省は「沖縄防衛局が省令等を参考に適切な施行について検討している。手続を問題視しない」と答えている。県の見解を伺う。
 - エ 事業費が3倍に膨れ上がり工期も12年以上に延び、7万本もの砂くいを打ち込むことで壊滅的環境破壊を招く工事が必要であることを、埋立申請段階で既に把握し、そのことを隠蔽していたのであれば、埋立申請そのものが無効であったと言わざるを得ない。ましてや工事変更承認申請の承認などでき得るはずもない。県の見解を伺う。

2 無人偵察機MQ9の嘉手納配備について

海上自衛隊鹿屋航空基地に暫定配備されていた米軍の無人偵察機MQ9、8機が嘉手納基地に移駐し11月から運用を開始した。MQ9は「死神」とも呼ばれ、ロシア・ウクライナ戦争で使われたほか、中東各地の戦場でも要人暗殺などの実戦任務に投入されているとされている。

- (1) 防衛省は鹿屋航空基地への暫定配備時には、10か月前から時間をかけて住民説明会なども開いて調整し、沖縄には期間を限定しない本格配備であるにもかかわらず、十分な説明もなしに一月程度の期間で移駐・配備した。また鹿屋航空基地への配備には九州防衛局は鹿屋市と使用協定を結んでいるが、嘉手納への配備にはそれもない。鹿屋への暫定配備時と沖縄への配備の対応があまりにも違うことに啞然とさせられる。県の見解を伺う。
- (2) 防衛省は沖縄市、嘉手納町、北谷町に配備について説明したとのことだが、沖縄県にも説明はあったか。
- (3) 8月22日、鹿屋航空基地で起こったMQ9のオーバーランの事故は、原因が究明されないままに運航が再開されている。移駐に当たり事故原因について何らかの説明はあったか。
- (4) 昨年10月から海上保安庁が青森県の海上自衛隊八戸航空基地にMQ9、1機を配備し運用を開始した。今年5月からはさらに2機配備し3機を運用している。そのうち1機は海上自衛隊が共用し実・運用テストを行っている。さらに2025年度に2機を新規購入し5機体制とした上で、2024年度末までに現在の青森県から福岡県の北九州航空基地に移転する方針とも報じられている。米軍保有の8機に続き、自衛隊の無人機も最終的に沖縄県内に配備する計画ではないのか、県の見解を伺う。

3 大麻グミと呼ばれる大麻由来の成分を含む可能性のあるグミを食べ、若年層の救急搬送の事例が東京、大阪、そして我が沖縄県でも相次いでいることについて

- (1) 前議会で若年層の薬物乱用の問題を取り上げ、県内で「完全に合法」をうたって「危険ドラッグ」と思われる薬物を堂々と売る店が増えており、対策が必要と指摘したが現状はどうか伺う。

- (2) 厚生労働省は大麻由来の成分に似た合成化合物HHCH(ヘキサヒドロカンナビヘキソール)を指定薬物に指定し、12月2日から所持や使用、流通が禁止されたということだが、指定後県や県警はどう対処しているか。
- (3) 危険ドラッグについて、規制しても化学構造式の一部を変えて新たなものが出てくるいたちごっこの状況にあるという。厚生労働省の対策はどうか伺う。
- 4 県立名護高校付属桜中学校が4月に開校し、2期目の生徒募集が行われた。2年目を迎えるに当たっての課題や目標を伺う。
- 5 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第4回沖縄県議会(定例会)

12月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	喜友名 智子(おきなわ新風)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 福祉政策について</p> <p>(1) こども未来部の新設に伴い、女性の福祉と男女共同参画に関する業務についての県の考えを伺う。</p> <p>(2) 「沖縄県子どもの権利を尊重し虐待から守る社会づくり条例」制定から3年以上経過した。子供の命を守る虐待防止にとどまらず、大人が思うように子供を動かそうとする「保育・教育虐待」をなくす取組も必要と考える。県の姿勢を伺う。</p> <p>(3) 母子寡婦・ひとり親支援について、厳しい県予算の中で予算を拡充・維持した県の姿勢を評価する。次年度に向けた方針を伺う。</p> <p>2 企業局水道料金改定について</p> <p>(1) 改定の内容について伺う。</p> <p>(2) 値上げ分のうちPFOS対策費について伺う。</p> <p>(3) PFOS対応予算は汚染者負担が適切と考えるが、県の対応を伺う。</p> <p>3 病院事業局について</p> <p>(1) 2024年4月から始まる「医師の働き方改革」新制度の意義と、病院事業局での対応について伺う。</p> <p>(2) 労務管理のため進められている沖縄県病院総務システム開発の状況について伺う。</p> <p>4 産業振興・島嶼振興</p> <p>(1) 離島フェアの目的と過去3回の出店料金を伺う。</p> <p>(2) 離島海岸の漂着ごみ対策は小規模自治体の財政負担が厳しい。県の対応を伺う。</p> <p>(3) 観光目的税導入について伺う。</p> <p>(4) せんだって発表された北部テーマパークについて、県の受け止めを伺う。</p> <p>(5) 労働者協同組合による沖縄振興の可能性について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第4回沖縄県議会(定例会)

12月12日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
3	17分	玉城 武光(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 米軍艦船の民間港への入港について</p> <p>(1) 民間港である与那原マリーナへの米軍艦船の入港は認めるべきではない。入港した経緯と管理体制を問う。</p> <p>2 農林水産業の振興について</p> <p>(1) 食料自給率向上を農林水産業の基本目標に位置づけ、自給率50%を達成するために諸施策を展開すべきである。県の見解と諸施策の拡充を問う。</p> <p>(2) 肉用子牛価格の現状と和牛子牛生産者緊急支援を問う。</p> <p>(3) 農林水産業の価格保障・所得補償制度の構築、農業、酪農、畜産、漁業への支援策の強化を国に求めると同時に、県の強化策を問う。</p> <p>(4) ここ数年間、据え置かれているサトウキビ価格は引き上げるべきである。価格引上げと増産支援の要請を問う。</p> <p>(5) 近年、水産物の漁獲が減少している。漁獲量の推移と減少の要因、漁獲増の支援策を問う。</p> <p>3 暮らしを支える施策について</p> <p>(1) 中小企業者の資金繰り支援の県単融資事業の概要を問う。</p> <p>(2) コロナ特例貸付制度の返済の状況と支援拡充を問う。</p> <p>(3) 物価高騰に見合った年金額に引き上げるべきである。沖縄県の年金支給額の実態と引上げに対する県の考え方を問う。</p> <p>(4) 介護利用料の値上げ改悪を中止し、高齢者も現役世代も安心できる介護・福祉制度にするべきではないか、見解を問う。</p> <p>(5) 生活に困っている人への支援を強化すべきである。支援拡充を問う。</p> <p>4 福祉行政について</p> <p>(1) 認知症高齢者数と行方不明者の実態と支援策を問う。</p> <p>(2) 認知症グループホームの施設整備の状況を問う。</p> <p>(3) 8050問題の実態と支援策を問う。</p> <p>(4) 若年無業者の実態と若年者活躍促進事業の成果と支援策の拡充を問う。</p> <p>5 道路整備の促進について</p> <p>(1) 南部東道路の整備状況と計画を問う。</p> <p>(2) 国道507号の整備状況と計画を問う。</p> <p>(3) 県道17号線(長毛から港川)の歩道帯の整備計画を問う。</p> <p>(4) 国道507号(八重瀬町富盛地内)、県道の街灯取替えの整備を問う。</p> <p>(5) 国道507号(南部工業高校前)、県道の屋根付バス停留所の整備状況を問う。</p> <p>6 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和5年第4回沖縄県議会(定例会)

12月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	西銘 純恵(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 米軍の欠陥機CV22オスプレイが嘉手納基地に向けて飛行中、屋久島沖で墜落した。那覇方面から浦添上空は、その夜も翌日も、住宅地の上空をMV22が飛行していた。県民の命と安全を脅かす飛行は断じて許せない。オスプレイの即時飛行停止、全機撤去を求め、自衛隊のオスプレイも導入を中止し、撤去を求めるべき。</p> <p>2 辺野古弾薬庫は、既存の弾薬庫を取り壊して12棟の新たな弾薬庫が建設される計画で既に4棟が完成している。原子炉と同じ二重の壁による遮蔽壁構造になっていると指摘されているが、核兵器を貯蔵する弾薬庫になるのではないかと。日米政府に事実確認すべきではないか。</p> <p>3 牧港補給基地は日米共同発表した米軍の統合計画によれば、海に面した142ヘクタールの返還が2024年から始まることになっているが、具体的なスケジュールを問う。</p> <p>4 那覇軍港では、昨年、第31海兵遠征部隊の海兵隊が、武器や弾薬使用、オスプレイなどの米軍機、海軍輸送船を使つての訓練を行つて、今年も、3月にオスプレイの離着陸や訓練、11月9日に米軍の地对空誘導弾パトリオット4機の発射台が陸揚げされ、海兵隊の訓練が常態化している。これに対して県は「5. 15メモ」の厳格な適用を求めている。機能が強化されている那覇軍港は即時無条件返還を求めるべきである。サンゴの自然豊かな浦添西海岸を埋め立てる自然破壊、税金の無駄遣いの浦添新軍港の建設中止を求めるべきではないか。</p> <p>5 こども未来部の新設について</p> <p>(1) こども未来部の新設によって、子供の貧困対策がさらに充実するものと期待されるが、部を設置する目的を問う。</p> <p>(2) 子供の貧困対策を県政の重要課題として取り組んでいるが、成果と今後の取組を問う。</p> <p>6 教育行政について</p> <p>(1) 学級担任不足や代替教員の入れ替わりによって、子供の心に深刻な影響を与えている。いじめや不登校の現状と推移、対応策を問う。</p> <p>(2) 臨時教員を正規雇用にする計画と次年度の採用予定を小中、県立学校、特別支援学校別に問う。</p> <p>(3) 教職員の離島赴任に際して、自家用車の運搬料を実費支給することについて、県の取組と次年度には改善されるのか伺う。</p> <p>7 学童クラブについて</p> <p>(1) 学童クラブの設置数と入所人数の推移。待機児童の実態と解消に向けた取組を問う。</p> <p>(2) 学童クラブへの家賃補助について、県は補助上限額の改善のために市町村に助言をしてきたが現状はどうか。また、新設した学童クラブにも補助を開始する必要があるが、実態を問う。</p> <p>(3) 学童支援員の処遇改善の取組と拡充策を問う。</p> <p>8 県営住宅の増設について</p> <p>(1) 県営住宅の申込み数と入居数の推移、増設計画を問う。</p> <p>(2) 借家率が全国一の沖縄県で高齢者の住居確保が困難になっている。足腰が弱くなった高齢者が住み慣れたアパートから1階に転居しようとしても、民間アパートの入居を断られる事案が増えている。独り暮らしなど高齢者が安心して入居できるように福祉と連携した県営住宅などの公営住宅の建設が必要と思うが、見解を問う。</p>			

9 離島行政について

(1) 伊平屋診療所と医師住宅の移転改築の進捗と開所までの取組を問う。

(2) 伊平屋村は保育士不足でゼロ歳児4人が待機児童となり、介護士不足で介護支援が困難などケアワーカー不足は深刻である。離島で働きながら保育士資格が取得できるように、県が受講費を補助して、インターネットを活用した講座を開設できないかと要望を受けた。離島のケアワーカー養成対策を問う。

10 浦添市内への特別養護老人ホーム建設の進捗を問う。

11 浦添市内間の土砂崩れは、住民から対策を求める切実な要請が浦添市に出されている。急傾斜地崩壊防止対策が急がれるが、県の対応を問う。

12 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和5年第4回沖縄県議会(定例会)

12月12日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
5	17分	渡久地 修(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 米軍基地の撤去を目指すことについて</p> <p>(1) フィリピンのスービック、クラークの米軍基地が撤去された経緯について伺う。</p> <p>(2) スービック、クラークの米軍基地跡地の目覚ましい発展について伺う。</p> <p>(3) 米軍基地を撤去させてこそ沖縄経済も発展する。そこを目指すべきではないか伺う。</p> <p>2 ASEAN(東南アジア諸国連合)から学ぶ点について</p> <p>(1) ASEAN結成からの経緯と果たしている役割と、東アジア首脳会議への広がり及びASEANインド太平洋構想(AOIP)について伺う。</p> <p>(2) 平和の発信拠点を目指す沖縄県としても関連会議やイベント等の誘致等、連携を構築すべきではないか伺う。</p> <p>3 海外移民との連携及び支援について</p> <p>(1) 海外からの県費留学生受入れ事業の継続と拡大について伺う。</p> <p>(2) 海外展開支援事業の拡充について伺う。</p> <p>(3) 沖縄文化の継承への多面的な支援策について伺う。</p> <p>(4) 沖縄県移民センターの建設について伺う。</p> <p>4 市管理港湾への艦船の入港には、非核証明書を求めている神戸市のように、沖縄県港湾管理条例を改正すべきではないか伺う。</p> <p>5 高齢者福祉について</p> <p>(1) 独り暮らしの高齢者の数と、警察が把握している孤立・孤独死の現状について伺う。</p> <p>(2) 独り暮らしの高齢者及び低所得高齢者への支援について伺う。</p> <p>(3) 独り暮らし及び低所得高齢者向けの公営住宅の増設及び公営借り上げ住宅について伺う。</p> <p>(4) 高齢者のいわゆる買物難民対策について伺う。</p> <p>(5) 高齢者貧困対策基金(仮称)の設置で、低所得高齢者支援を拡充すべきであるか伺う。</p> <p>6 学校給食について</p> <p>(1) 学校給食の無償化の早期実施について伺う。</p> <p>(2) 琉球漆器の学校給食用食器の製作と活用を拡充し、漆器産業の活性化及び沖縄の文化を継承することについて伺う。</p> <p>7 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和5年第4回沖縄県議会(定例会)

12月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	國仲 昌二(おきなわ新風)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 地域外交について

(1) 台湾訪問について

知事の台湾訪問について、政府関係者との面談等がなかったことから、いろいろな意見が出ています。知事の見解を伺います。

(2) ASEANの平和外交について

海外視察でASEANを訪れ「対話を積み重ねることによってお互いの理解を深める。意見の食い違いがあっても対話をする。お互いの違うところを認識することによって、その上で平等な協力関係を結べる」旨の考え方を聞き感銘を受けました。まさに地域外交の基本ではないかと思えます。知事の見解を伺います。

(3) ASEANの国々の地方政府との交流について

ASEANから「もっと地方政府レベルでの協力関係を構築したい」との話がありました。沖縄県とASEANの地方政府との交流について知事の見解を伺います。

2 辺野古新基地建設について

(1) 代執行訴訟について

代執行訴訟の判決言渡し期日が12月20日に決まった。地方自治の本旨とは、地域住民の公益とはなど、この国の民主国家の在り方が問われる裁判です。知事の見解を伺います。

(2) 辺野古新基地と普天間基地閉鎖について

政府は「辺野古が唯一」として新基地建設に前のめりですが、在沖米軍幹部は、①滑走路が2800メートルであること、②本島西側高台に位置すること等を理由として、辺野古新基地が完成しても普天間基地を維持したいとコメントしています。知事の見解を伺います。

(3) 受注業者から技術検討会委員への資金提供について

辺野古の軟弱地盤をめぐる沖縄防衛局の設計変更にお墨つきを与えた検討委員会の委員が、関連工事の受注者から多額の寄附金を受け取っていたとの報道がありました。知事の見解を伺います。

3 総合的防衛力強化について

(1) 特定重要拠点空港・港湾について

政府の整備候補として38の空港、港湾が報道されました。沖縄県の7つの港湾と5つの空港が候補になっています。知事の見解を伺います。

(2) インフラ管理者との関係について

政府がインフラ整備を進めるとしているが、政府とインフラ管理者の法的な位置づけはどうなっているのか伺います。

4 住民避難計画について

(1) 先島諸島住民の避難計画について

官房長官が先島諸島住民を九州で受け入れるための計画を作成すると表明したとの報道がありました。知事の見解を伺います。

5 教育・文化行政について

(1) 平良孝七展について

平良孝七展の問題解決のため、外部専門家による第三者委員会を設置するとのことで

すが、今後、どのように進めていくのか伺います。

6 宮古関連について

(1) 宮古島市農業委員会委員の選考について

宮古島市議会の農業委員会委員選考に対する調査特別委員会から、沖縄県農業会議に農業委員会の行った区割りについての見解を求める依頼があったとのことですが、その回答について伺います。

(2) 宮古島市の水道水質汚染に対する対応について

宮古島市の水質調査でPFOS、PFOAが検出されました。宮古島地下水研究会から「PFAS除去のための高機能活性炭浄水処理と同等の高度浄水設備を早急に整備する」旨の要請が提出されていると思うが、その対応について伺います。

(3) 沖縄県不発弾等処理交付金事業について

沖縄県全体の不発弾等処理事業費は過去8年でほぼ横ばいであるのに対し、宮古地区における広域探査発掘加速化事業費は激減し、令和5年度は、ピーク時の3分の1以下にまで落ち込んでいます。見解を伺います。

(4) 下地島での耕作の継続等を要求する農家の会からの要請について

下地島での耕作の継続等を要求する農家の会から「農業ゾーンの設置」等を求める要請書が提出されていますが、その対応について伺います。

(5) 多良間村からの要請について

ア 普天間港ターミナルの建て替え工事について、県の対応を伺います。

イ 多良間港(前泊地区)の海浜景観の保全と公園整備について県の対応を伺います。

(6) 宮古空港の一般駐車場について

9月に駐車場入り口の発券機が破損し発券できないことから駐車料金を徴収しておらず、そのために駐車場が大混乱しています。復旧のめどについて伺います。

7 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和5年第4回沖縄県議会(定例会)

12月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	山内 末子(ていーだ平和ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			

1 知事の政治姿勢について

(1) 政府による自衛隊の統合運用の強行について

ア 陸・海・空の従来訓練に加え宇宙、サイバー電磁波等新分野の訓練の運用が加わる。地元の意向を軽視し強行された日米共同訓練(レゾリュート・ドラゴン)では初めて新石垣空港に飛来した。繰り返される訓練は県や関係機関、県民生活へどのような影響を与えるか。知事の見解を伺う。

(2) 在沖米軍幹部の辺野古新基地建設に関する発言について

ア 辺野古新基地建設に関わる軟弱地盤問題等について、これまでも米国連邦調査局(CRS)や会計検査局(GAO)が懸念を指摘してきた。今回初めて基地を使用する米軍から同様の懸念や普天間基地の継続使用の見解を示されたことは非常に重要だといえる。知事はどのように受け止めているか。

イ この見解を政府との交渉の中でどのように位置づけ、計画中止・普天間基地の運用停止・返還に向け取り組んでいくか伺う。

(3) 知事の対話外交について

ア イスラエル・ガザ攻撃問題、台湾有事、北朝鮮ミサイル発射問題と生臭い世界の政治状況の中、知事の積極的な対話外交はアジアの平和につながる姿勢だと評価をしたい。今後の取組展開について伺う。

2 北部訓練場跡地の米軍廃棄物問題について

(1) 廃棄物への注意喚起、発見時の適切な対応の仕方(どこに通報するか等)を示す看板の設置計画について伺う。

(2) 米軍廃棄物の状況や撤去作業について、ユネスコ世界遺産保全センターに提出する保全状況報告書に記載する必要があると考えるが、認識を伺う。

3 ウチナーネットワークの強化について

(1) 世界ウチナーンチュセンター設立計画について

(2) 世界に広がる移民・移住者の新たなネットワークに向けて県の取組強化が求められている。計画を伺う。

(3) フィリピンの移民2世の親族探しの報道がある。現地にはまだ多くの方が沖縄のルーツ探しを希望しているという。県の認識、対応について伺う。

4 沖縄県消防指令センターについて

(1) センターの役割、現状と課題について伺う。

(2) うるま市への移転計画に際し県の財政支援の対応について伺う。

5 伝統文化保存について

(1) 三線のさお確保について

ア 三線の原材料である琉球黒檀(クルチ)入手が困難な現状を踏まえ、道路街路樹として植栽されているクルチの資源供給の仕組みの構築について伺う。

6 県営団地建設計画について

(1) 県営団地入居倍率の推移と全国との比較について伺う。

- (2) 入居率向上に向けての計画と課題について伺う。
 - (3) 石川団地建て替えスケジュールについて、うるま市と県、地元の望む計画が重要だが、どのような調整がなされているか伺う。
- 7 悪質ホストクラブ問題、県内の実態と対応について伺う。
- 8 教育行政について
- (1) 働き方改革推進プランに基づいた成果と課題を伺う。
 - (2) 特別支援学級の現状と課題について伺う。
- 9 当たり前のLGBTQ、見える化の実現に向けて伺う。
- 10 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和5年第4回沖縄県議会(定例会)

12月12日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	平良 昭一(おきなわ新風)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 沖縄振興について</p> <p>(1) 令和6年度沖縄振興予算の確保に向けた取組状況について伺う。</p> <p>(2) 令和6年度税制改正要望について伺う。</p> <p>2 北部振興について</p> <p>(1) 北部振興事業の目的について伺う。</p> <p>(2) 北部振興事業のこれまでの成果について伺う。</p> <p>(3) 北部振興の今後の方向性について伺う。</p> <p>(4) 北部に開業予定の大規模テーマパークについて伺う。</p> <p>(5) 県道84号線の進捗状況について伺う。</p> <p>(6) 今後の本部港整備計画について伺う。</p> <p>(7) 伊平屋空港計画について伺う。</p> <p>3 観光目的税導入について</p> <p>(1) 令和8年度に観光目的税の導入を目指すとしているが、今年度から宿泊事業者を含む観光関連団体や導入を予定している市町村との意見交換を再開していると答弁していたが、その進捗について伺う。</p> <p>(2) 県が主な論点として挙げていた①税の使途、②県と導入予定市町村との税率及び税の配分、③高価格帯の施設利用者の税額設定の在り方、④課税免除の対象、⑤導入時期の詳細がどこまで進んでいるのか伺う。</p> <p>(3) 県と導入予定市町村との税率及び税の配分について伺うが、改めて導入予定市町村は現在幾つあり、対象自治体とどのような協議、調整が進められているか伺う。</p> <p>(4) 宿泊税の制度とは異なるが、先日、竹富町が導入を検討している法定外普通税の「訪問税(仮称)」で、有識者でつくる審議委員会が町内への来訪者から徴収する金額について「1人当たり2000円が妥当」と結論づけた。導入すれば国内で2例目となる可能性がある。ただ、一方で課題もある。県の観光目的税に加え、新聞報道では石垣市も今後、同様の税制度の導入を見据えている。将来的に観光客が竹富町を訪れる際、来訪者はトリプル課税を強いられる可能性もあることから、県として今後、どのような調整を行っていくのか。県と自治体における税制度導入のメリット、デメリットも含めて伺いたい。</p> <p>(5) 沖縄県と似たような状況として、北海道では少なくとも、道と14の自治体が宿泊税を導入する動きがある。道内では唯一、倶知安町が4年前から素泊まり料金の2%に当たる税率で実施している。県は宿泊費2万円未満で200円、2万円以上で500円の宿泊税を検討しているが、導入する税率や徴収方法など制度が異なれば観光客や地元自治体では混乱を招くおそれがある。自治体に合わせた税率や徴収方法、宿泊税の導入によって地域にどういったメリットがあるのか見解を伺う。</p> <p>4 和牛オリンピック沖縄開催について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			